

令和5年度

要 覧

もっと学びたくなる そんな場所があります



学習・体験・交流の広場

福岡県立社会教育総合センター

目次

基本方針と重点目標	1
沿革	2
施設概要	
1 建築概要	3
2 施設設備	3
3 利用案内	6
4 利用料金一覧	7
5 福岡県視聴覚ライブラリー	8
組織・機構・職員一覧	9
令和5年度事業計画	10
令和4年度実績	
1 事業	12
2 学習相談状況	15
3 家庭教育相談	16
4 施設の利用状況	18
野外施設配置図	20

基本方針と重点目標

1 基本方針

福岡県立社会教育総合センターは、少年自然の家を併設する本県の社会教育推進の中核施設として、市町村や民間団体等の社会教育の振興を図るとともに、ふくおかの未来を担う子どもの育成に努めます。

2 重点目標

(1) 県民の学習活動支援

- ① 施設の利用促進、施設利用者や社会教育、体験活動に関心のある者のための学習活動支援の充実等、学習の機会・場の拡充に努めます。
- ② 社会教育や家庭教育等に関する調査、データの収集・提供等の充実に努めます。
- ③ ICT等を活用した学習情報の提供や電話等による学習相談の充実、視聴覚教材の利用促進に努めます。

(2) ふくおかの未来を担う子どもの育成

- ① 子どもたちを鍛えてほめてその可能性を伸ばす観点から、実体験を促進する多様な活動プログラムの研究開発と普及に努めます。
- ② 家庭教育に関する学習機会や情報の提供、相談活動の充実、家庭教育支援者の養成、交流の場の提供等に努めます。

(3) 社会教育関係者等の養成

- ① 社会教育関係職員及び民間団体指導者の資質向上を図る基礎的、専門的研修の充実に努めます。
- ② 地方創生や超高齢社会への対応、学校・地域との連携・協働等、現代的課題に関する研修の充実に努めます。
- ③ 県内外の生涯学習・社会教育関係実践事例の収集・提供及び関係者の交流促進に努めます。



所章

福岡県立社会教育総合センターが、本県の社会教育を総合的に推進する施設として充実発展していくことを願って、木が上へ上へと伸び、大きな繁りとなっていく姿をイメージしています。



沿

革

昭和53年12月 4日	福岡県社会教育委員の会議が福岡県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議
昭和55年 8月 8日	建設場所を篠栗町に決定
昭和57年 1月11日	造成工事に着工
11月19日	建築工事に着工
昭和58年12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例（昭和58年福岡県条例第24号）公布
昭和59年 1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室を社会教育課内に設置
〃	研修団体の利用申込みの受付開始
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第1号）公布
〃	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第3号）公布
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第9号）公布
4月 1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（昭和58年福岡県条例第23号）により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家を設置
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局のセンター内への移転に伴い、福岡県視聴覚ライブラリーを同センターに開設
8月20日	所章（シンボルマーク）決定
9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家落成式
昭和60年 3月 9日	野外活動施設（野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋）完成
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則（昭和60年福岡県教育委員会規則第7号）公布
昭和61年12月20日	上山窯完成
平成 元年 7月	施設ボランティア「若杉の会」発足
平成 4年 7月24日	利用者100万人突破
12月24日	キャンプ炊飯場新設
平成 6年10月16日	あじさい小屋完成
平成 8年 9月 1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更
平成10年 5月	ホームページ「ふくおか生涯学習ネットワーク（現 ふくおか社会教育ネットワーク）」運用開始
7月14日	レストランをバイキング方式に変更するとともにパン工房を設置
平成11年 2月12日	炭焼窯完成
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみ発行
5月 8日	学習ボランティア「若杉の会」10周年記念交流会開催
平成12年 3月31日	山道等災害復旧工事完了（平成11年6月29日集中豪雨による災害）
平成13年 2月	パソコンルーム設置
11月18日	利用者200万人突破
平成15年 3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により山林整備
11月14日	創立20周年記念行事（式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル）実施
平成16年 3月31日	あじさい炊飯場完成
7月14日	釜山地域平生教育情報センターと交流協定締結
平成17年10月 1日	ホームページ「ふくおか子育てパーク」運用開始
平成22年 3月	緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により野外活動エリア整備
3月19日	遊歩道等災害復旧工事完了（平成21年7月24日豪雨による災害）
平成23年 4月19日	利用者300万人突破
3月 9日	釜山地域平生教育情報センターの組織変更に伴い釜山広域市立市民図書館と交流協定締結
平成26年11月21日	創立30周年記念行事（式典、記念講演）実施
平成27年 3月31日	太陽光パネル設置及び照明LED化工事完了
3月	ホームページ「ふくおか社会教育ネットワーク」訪問者数30万件突破
平成28年 3月	ぎずなの森完成
令和 2年 3月 2日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休所（令和2年5月18日まで）
4月 1日	指定管理制度開始
9月	ふくおか体験活動出前隊の開始
令和 3年 5月13日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休所（令和3年6月20日まで）
8月10日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休所（令和3年9月30日まで）
令和 4年 2月	トイレ大規模改修工事完了
3月	ゆず植樹
〃	キャンプサイト設置
令和 5年 3月	ホームページ「ふくおか社会教育ネットワーク」改修

施設概要

1 建築概要

敷地面積	201,750㎡
建築面積	5,838㎡
建物延面積	12,492㎡
建築構造	鉄筋コンクリート造
建築工事期間	起工 昭和57年11月19日 竣工 昭和59年3月31日
総工事費	4,321,457,000円

1階	2,725㎡
2階	4,958㎡
3階	2,434㎡
4階	2,315㎡
P 1階（塔屋）	60㎡

2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(㎡)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	500人 (316ベッド)	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴場	155		大浴場、中浴場、多目的浴室	
駐車場			80台		第1・第2駐車場



センター全体



レストラン「そよかぜ」



宿泊室



講堂



体育館



プレイホール



ロビー

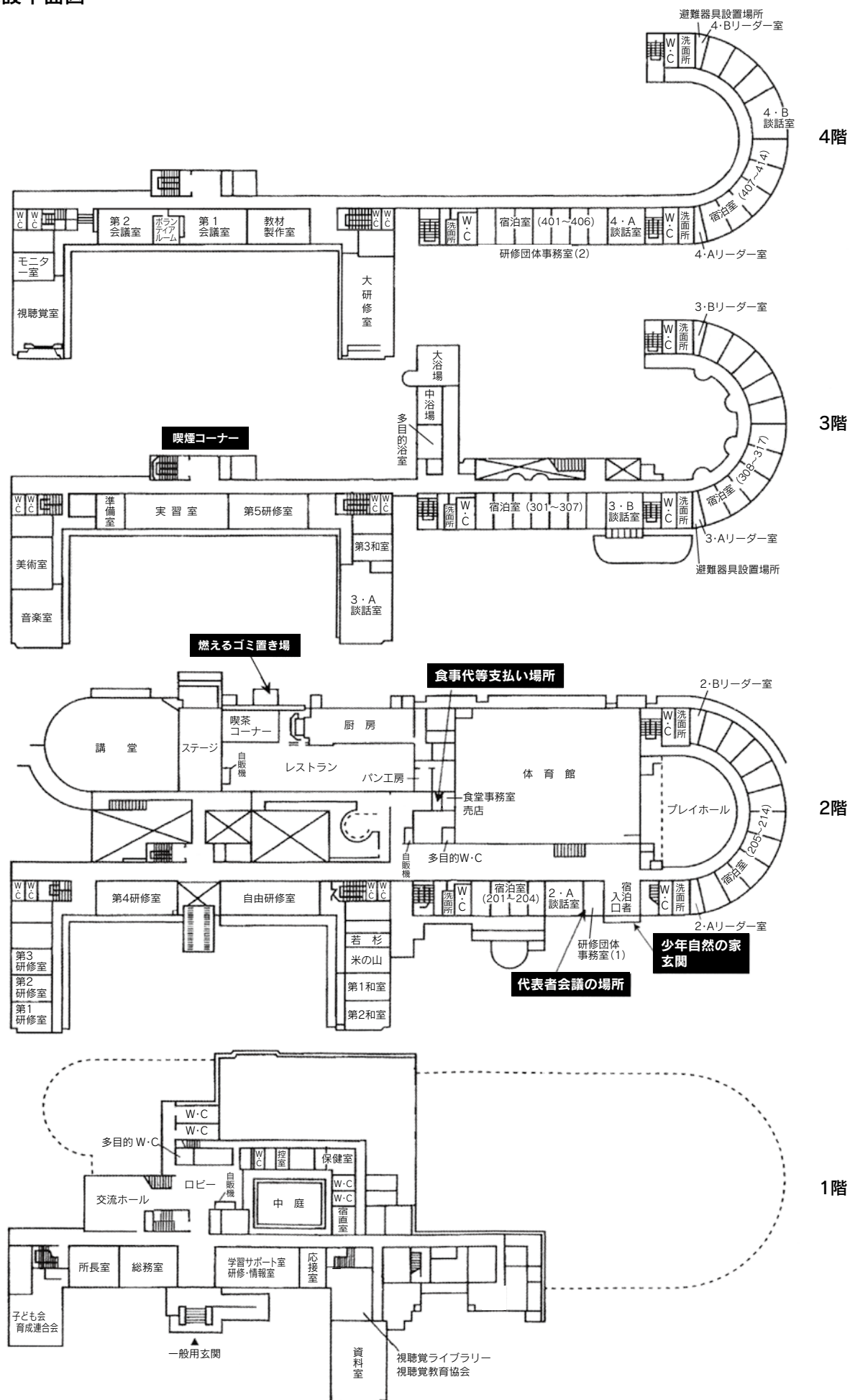


キャンプサイト



談話室

② 施設平面図



③ 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
1階	資 料 室	－	社会教育関係の図書・資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ー ル	－	交流・憩いの場・学習作品の展示	テレビ、応接セット、ピアノ、ビデオ
	控 室・応 接 室	－	所の管理用施設	
	所 長 室・事 務 室	－	所の管理用施設	
	視 聴 覚 ライブラリー	－	視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材、DVD
2階	講 堂	450	大会・研修会・講演会・映写会 ※防音	16ミリ映写機、スライド映写機、 ピアノ、ステージ、ポッチャコート
	レ ス ト ラ ン	204		パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	黒板、机、椅子、スクリーン
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和 室（第 1・第 2）	45	研修室（16畳・20畳）	座テーブル、座布団
	体 育 館	－	バレー2面、バドミントン3面、 バスケットボール1面（練習2面）、 フリーテニス（3面）	各種ネット
	プ レ イ ホ ー ル	－	軽スポーツ、交流の場、レクリエー ション	オルガン
3階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場※防音	黒板、ピアノ、机付椅子
	美 術 室	40	美術研修（通常研修可）	黒板、机、椅子、流し台
	実 習 室	48	陶芸、木工の製作	固定作業台、丸椅子、流し台
	第 5 研 修 室	54	講義、研修	ホワイトボード、机、椅子
	和 室（第 3）	12	研修、茶道、華道	座テーブル
4階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修（スロープ式研修室）、 講義、研修、※防音、固定式机椅子	スクリーン、固定机、固定椅子
	第 1 会 議 室	－	所の管理用施設	
	ボランティアルーム	－	所の管理用施設	
	第 2 会 議 室	－	所の管理用施設	
	教 材 製 作 室 ※	40	講義、研修	黒板、机、椅子、スクリーン
	大 研 修 室	120	講義、研修	ホワイトボード、スクリーン、机、 椅子、放送設備、DVD
野外施設	グ ラ ウ ンド	－	ソフトボール、サッカー等（※野球不可）	各種スポーツ道具
	野 外 炊 飯 場	80	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	あ じ さ い 炊 飯 場	130	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエー ション、野外音楽	放送設備
	玄 関 前 交 流 広 場	－	交流の場	
	り ん ど う 小 屋	－	所の管理用施設（荒天時避難可）	
	た け の こ 広 場	300	朝・夕べのつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装、キャンプサイト
	あ じ さ い 小 屋	－	所の管理用施設	
	あ じ さ い 広 場	100	工作、キャンプファイヤー	テーブル、椅子、テント、電源有

3 利 用 案 内

当センターは、広く県民の社会教育を推進する教育施設として、学習活動に関する情報の収集及び発信を行う等、生涯学習の機会と場の充実に努めています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
研 修		学校やグループ、団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば利用できます。また、2人以上であれば、宿泊研修もできます。 ①宿泊利用の場合 利用開始日の3か月前の月初めから1か月前までに申し込んでください。 ②1日利用の場合 利用日の1か月前から1週間前までの受付となります。事前に電話で御相談ください。 TEL：092-947-3511（学習サポート室）	全国(九州)規模の大会や研究集会、県教育委員会主催の研修会等、特に必要があると認めた団体については、前年度から申し込みを受け付ける場合があります。
	見 学 ・ 視 察	見学希望日の1週間前までに電話でお問い合わせください。 TEL：092-947-3511（学習サポート室）	
相 談	学習相談	学習機会や講師情報、事例の紹介等、様々な相談に応じます。(休所日を除く) TEL 092-947-3512（研修・情報室）	来所及び電話による相談を受け付けています。
	家庭教育相談 [親・おや電話] [メール相談]	保護者等を対象に家庭教育・子育て全般の相談に応じます。 ①電話による相談 TEL：092-947-3515 月曜日～土曜日 9：00～17：00 (ただし、センターの休所日、第4土曜日及び祝日を除く) ②メールによる相談 HP「ふくおか子育てパーク」において受け付けています。 URL：http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/	専門の相談員を配置しています。
図 書 資 料		社会教育に関する資料が閲覧・貸出しできます。	貸出しは来所のみで受け付けています。
視 聴 覚 教 材 の 利 用		DVD・ビデオ・16ミリ等の教材を貸出しています。電話で予約受付ができます。 受付は9:00～16:30（土・日・祝日・休所日を除く）です。 毎週火・木曜日に発送します。 送料往復無料（一部地域を除く）です。 利用申込は利用の3か月前から受け付けます。貸出期間は7日間（8日以上要相談）です。 1回の貸出しは5本以内とします。 TEL：092-947-3514 http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/raiburari.index.html	詳しくはHP「福岡県視聴覚ライブラリー」及びチラシを参照してください。

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始（12月28日～1月4日） 休所日は変更になる場合があります。

○必要な経費

施設を利用する場合は、福岡県立社会教育総合センターの利用料金に関する条例（昭和58年福岡県条例第24号）に定める利用料金のほかに、食費等が必要です。詳細については次ページを参照してください。

4 利 用 料 金（令和5年4月1日現在）

○施設利用料

	利用時間	9 : 00 ↓ 12 : 00	13 : 00 ↓ 17 : 00	19 : 00 ↓ 21 : 00	9 : 00 ↓ 17 : 00	13 : 00 ↓ 21 : 00	9 : 00 ↓ 21 : 00
	研修室						
2 階	第 1 研修室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第 2 研修室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第 3 研修室	1,110円	1,480円	740円	2,960円	2,960円	4,440円
	第 4 研修室	2,040円	2,720円	1,360円	5,440円	5,440円	8,160円
	自由研修室	2,040円	2,720円	1,360円	5,440円	5,440円	8,160円
	第 1 和 室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第 2 和 室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	講 堂	11,130円	14,840円	7,420円	29,680円	29,680円	44,520円
3 階	音 楽 室	2,580円	3,440円	1,720円	6,880円	6,880円	10,320円
	美 術 室	1,470円	1,960円	980円	3,920円	3,920円	5,880円
4 階	大 研 修 室	3,330円	4,440円	2,220円	8,880円	8,880円	13,320円
	視 聴 覚 室	3,690円	4,920円	2,460円	9,840円	9,840円	14,760円
	宿 泊 室	1 人 1 泊につき 1,230 円					

※研修に必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート室にお問い合わせください。

※利用者の利用目的によっては利用料金の免除や減額の措置があります。

※物品の販売や入場料の徴収を伴う場合は利用できません。

※政治活動、宗教活動、営利を目的とした活動での利用はできません。

※宿泊者1人1泊につき宿泊税が別途200円課税されます。ただし、利用料金が全額免除される場合には課税されません。

※宿泊の際は、別途シーツクリーニング代として1セット（2枚）につき280円必要となります。

○食事料金（価格は全て税込み）

食堂（レストラン「そよかぜ」）利用

対 象		朝 食	昼 食	夕 食
幼 児	一 般	250円	350円	400円
	団体割引	220円	330円	380円
小学生	一 般	500円	700円	780円
	団体割引	470円	650円	720円
中学生 以 上	一 般	520円	750円	800円
	団体割引	490円	690円	750円

弁当（昼食）

対 象		価 格
幼 児	一 般	380円
	団体割引	350円
小学生 以 上	一 般	600円
	団体割引	580円

※次の①又は②を満たす団体は団体割引が適用されます。

①施設利用料金の全額免除を受けることができる学校・青少年団体

②全ての食堂利用が30名（食）以上である団体

※幼児は、4歳～6歳までとします（4歳未満は無料）。

野外炊飯セット

メニュー	対 象	幼 児
カレー、焼きそば、豚汁、 シチュー、すき焼き	幼 児	300円
	小学生以上	600円
焼肉	幼 児	400円
	小学生以上	800円

注文・キャンセル

食数の注文は、入所日の10日前（休所日の場合はその前日）の12時までに行ってください。

10日前を過ぎてキャンセルとなる場合は、食事料金の半額（野外炊飯の場合は全額）を負担していただきます。

当日キャンセルとなる場合は、全額を負担していただきます。

5 福岡県視聴覚ライブラリー

視聴覚教材

社会教育総合センター内に福岡県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出しを行っています。

16ミリフィルム	1,370本
ビデオ	2,116本
DVD	983本
CD-ROM	38本
その他（CD）	54本
合計	4,561本

領域の内訳

学 校 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	その他	社 会 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	その他	
国 語	125	136	108	0	1	教養・情操	331	706	239	5	9	
社 会	126	347	152	4	0	健康・体力	76	125	45	0	0	
算数・数学	6	4	0	2	0	家 庭 生 活	88	146	61	1	1	
理 科	129	189	45	9	6	家 庭 教 育	148	309	265	2	10	
生 活 科	57	266	173	4	0	地域社会生活	350	457	517	10	18	
音 楽	8	16	0	0	2	人権・同和	223	224	219	0	29	
図工・美術	17	26	3	1	0	国 民 生 活	174	258	286	6	24	
技術・家庭	13	47	41	3	0	国 際 性	39	93	12	0	0	
保健・体育	59	175	90	1	0	職業生活一般	9	24	14	0	0	
道 徳	467	443	455	1	33	職業の知識・技術	20	181	149	7	0	
特 別 活 動	691	1,692	945	33	33	学習者の特性	51	67	5	3	0	
						学習援助の方法	56	189	42	18	8	
						社会教育施設	17	8	1	0	0	
						一 般 映 画	89	106	17	0	0	
						自 作 ビデオ	県コンクール入賞作品	0	55	0	0	1
					社教センター作品		0	13	3	0	0	
						アニメーション作品	242	296	194	3	0	

（令和5年4月1日現在）

※福岡県視聴覚教育協会所有の教材含む。

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はDVD等が複数の領域で活用できるためです。

DVD、ビデオ、16ミリフィルム等

送料は、往復無料です

幅広い世代に御利用いただける教材がそろっています。



組織・機構・職員 (令和5年5月2日現在)



所 長 井 手 優 二 参 事 松 井 淳

室名	室長	室 員					
総務室	目原宏敏	企画主査	秋山真紗代				
		主任主事	鯉川弥寿良				
		主 事	安田 唯				
		社会教育施設指導員	原 あゆみ				
研修・情報室	澤田 亮	主任社会教育主事	高瀬 博	社会教育施設指導員	永田弘子		
		社会教育主事	高木 昇太	社会教育施設指導員	内堀 志穂		
		社会教育主事	原口 好史				
		社会教育主事補	植田 泰司				
		社会教育主事	原田 嘉樹				
		社会教育主事	嶋本 光司				
学習サポート室	松井 淳	主任社会教育主事	八波 清彦	社会教育施設指導員	万波 明日香		
		社会教育主事	秦 康治	社会教育施設指導員	内海 祐紀		
		社会教育主事	瀬之口 紘史	社会教育施設指導員	古賀 遥		
		社会教育主事	白石 達也	社会教育施設指導員	岡田 紗知		
		社会教育主事補	齊藤 花奈	社会教育施設指導員	北 航洋		

視聴覚教育協会	臨時職員	藤 麻 湖	指定管理者	福岡総合ビル管理事業協同組合
---------	------	-------	-------	----------------

歴代所長

	所 長 名	就任年月日		所 長 名	就任年月日		所 長 名	就任年月日
1	安 部 徹	S59. 4. 1	9	森 本 精 造	H 8. 4. 1	17	今 田 義 雄	H24. 4. 1
2	加 来 宣 幸	S61. 4. 1	10	瓜 生 浩 平	H12. 4. 1	18	中 蘭 宏	H26. 4. 1
3	山 口 春 禮	S63. 4. 1	11	安 野 義 勝	H13. 4. 1	19	原 正 彦	H29. 4. 1
4	濱 地 甫 伯	H 元. 4. 1	12	重 松 孝 士	H14. 4. 1	20	日 高 公 徳	H31. 4. 1
5	鹿 毛 勲 臣	H 元. 6.14	13	菊 川 律 子	H17. 4. 1	21	平 川 真 一	R 2. 4. 1
6	窪 田 康 徳	H 4. 4. 1	14	角 伸 幸	H19. 4. 1	22	井 手 優 二	R 5. 4. 1
7	松 崎 輝 生	H 5. 4. 1	15	木 原 忠	H23. 4. 1			
8	大 神 俊 明	H 6. 4. 1	16	城 戸 秀 明	H23.10.31			



令和5年度事業計画 ～こんなことをします～

1 県民の学習活動支援

学習情報提供・学習相談

■HP「ふくおか社会教育ネットワーク」による情報の提供

県内外の社会教育に関する先進事例や講師情報、調査研究等様々な学習情報を提供するとともに、当センター及び県内社会教育施設情報について紹介する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■図書資料と社会教育情報の収集・整理・提供

国や県、市町村、民間団体の発行する社会教育・生涯学習振興に関連する図書資料や地域情報等を収集・整理・提供する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出

社会教育・生涯学習、学校教育、家庭教育等に関する視聴覚教材の収集と貸出を行う。

<対象>学校、民間団体、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■社会教育・生涯学習に関する学習相談

社会教育や生涯学習に関する講師や学習方法、学習機会についての情報提供、事例の紹介、図書や視聴覚教材の案内、研修プログラムの相談など、学習者や学習企画者の相談に応える。

<対象>学校、民間団体、行政機関等

調査研究

■社会教育振興に関する調査研究

社会教育・生涯学習に関する調査研究を行い、基礎データ及び振興方策等についての情報を提供する。

<対象>行政機関等

学習活動の支援・学習機会の提供

■ゆずフェスティバル

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解とボランティアの育成を図る。

<対象>県民、施設での活動に関心のある方

<実施>11月12日(日)

学習活動の支援・学習機会の提供

■ふくおか社会教育応援隊

県内の社会教育振興を図るため、市町村や社会教育関係団体、学校等の要望に応じた人材を派遣するとともに、情報、学習機会を提供する。

<対象>市町村、社会教育関係団体、学校等



2 ふくおかの未来を担う子どもの育成

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■ふくおかきずくアドベンチャーキャンプ【4回シリーズ】

県内の小学校3、4年生の児童を対象に、県内各青少年教育施設での特色を生かした自然・生活体験と各施設のプログラムを経験させることで、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし、自律的に成長するための基礎を養う。

※夜須高原青少年自然の家、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」と共同開催

<対象>県内の小学校3、4年生 24名

<実施>① 9月 2日(土)～ 3日(日) (社教センター)

② 9月16日(土)～ 17日(日) (玄海の家)

③ 10月21日(土)～ 22日(日) (英彦山)

④ 12月 9日(土)～ 10日(日) (夜須高原)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■和き・合い・愛 チャレンジキャンプ

知的障がいのある児童・生徒を対象に、自然体験活動や社会体験活動のプログラムを通して、何事にも主体的に取り組む力や他者とふれあう力を育み、自立心や社会性を身につける力を養う。また、高等部については、卒業後の進路を考えるために、保護者同士の情報交換等を行いながら、子どもの自立に向けた支援の在り方等について考える機会とする。

<対象>県内の特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍する知的障がいのある児童・生徒

<実施>① 6月18日(日) (小1～小4)

② 8月 4日(金)～ 6日(日) (高校生)

③ 10月14日(土)～ 15日(日) (小5～中3)

④ 11月24日(金) (保護者・関係者)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■コミュニケーションキャンプ【3回シリーズ】

～考え、工夫し、乗り越えるグループアクティビティ～
子どもの生活習慣の定着、協調性・主体性などを育むため、地域人材を活用しながら、体験活動の充実を図る。また集団で合意形成を行いながら活動を行い、思考力・判断力を養い、コミュニケーション能力を育成する。

<対象>県内の小学校5・6年生 24名

<実施>① 7月 1日(土)～ 2日(日)

② 8月19日(土)～ 20日(日)

③ 10月 7日(土)～ 9日(月)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ

幼少期からの体験活動の重要性を考慮して、様々な体験活動にチャレンジさせ、その過程を褒めることで、思考力や社会性、協調性を育成し、自立心の向上につなげる。

<対象>県内の年長児

<実施>① 9月23日(土) (30名)

② 10月28日(土)～ 29日(日) (20名)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■きずなキャンプ【3回シリーズ】

県内の児童養護施設と様々な体験活動を交流しながら、その過程を称賛することで、思考力や社会性、協調性を育成し、自立心、自尊感情の向上を目指します。

<対象>県内の児童養護施設の児童・中学生20名程度

<実施>① 7月28日(金)

② 8月 9日(水)～ 10日(木)

③ 11月11日(土)～ 12日(日)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■ふくおか体験活動出前隊

県内の県立青少年教育施設及び国立夜須高原青少年自然の家の職員が学校や地域に出向き、自然体験活動の機会が減った児童・生徒及び教職員、地域の方々を対象に体験活動の支援を直接行うことを通して、学校や地域での体験活動の充実及び活性化を図る。併せて、県内青少年教育施設の取り組みを広く地域に発信し、理解を深めるとともに、各施設の利用促進を図る。

<対象>福岡県内の教育施設、市町村社会教育・生涯学習関係課及び管内の社会教育施設、社会教育関係団体、地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動等に関係する団体

家庭教育支援

■みんなで育もう！ふくおかの子ども育成支援フォーラム

ふくおかの未来を担う子どもの育成を目指し、家庭教育・子育て支援者、学校教育関係者、社会教育関係職員等を対象に、家庭教育・子育て支援についての理解と啓発及び関係者のネットワークづくりを図る。

＜対象＞家庭教育・子育て支援者に関心のある団体・個人、
家庭教育・子育て支援行政担当者、幼稚園・保育園(所)・
学校関係者、その他

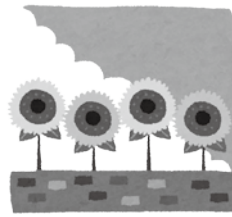
＜実施＞12月3日(日)

家庭教育支援

■HP「ふくおか子育てパーク」による情報の提供

インターネットを活用した家庭教育・子育て支援情報の収集・提供を行い、家庭教育・子育ての支援を図る。

＜対象＞家庭教育・子育て支援者・団体、保護者、行政機関等



家庭教育支援

■家庭教育相談「親・おや電話」・「メール相談」

保護者等を対象に家庭教育・子育て全般にわたる相談に応じる。

＜対象＞保護者等

3 社会教育関係者等の養成

社会教育基礎研修

■社会教育・生涯学習関係職員等研修会【基礎講座】

社会教育・生涯学習関係職員の新任者及び学び直しを希望する者を対象に、今後の社会教育・生涯学習の振興を図るために必要な基礎知識や資質・能力の向上に向けた研修を行う。また、関係者同士のネットワークを構築する機会を提供する。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係職員等

＜実施＞6月14日(水)

社会教育基礎研修

■市町村社会教育委員新任者研修会

新任の市町村社会教育委員等を対象に、社会教育委員の役割や当面する社会教育の課題等についての研修を行い、社会教育の充実・振興を図る。

＜対象＞新任の社会教育委員、生涯学習行政関係職員等

＜実施＞7月7日(金)

社会教育実践研修

■社会教育・生涯学習関係職員等研修会【広報講座】

社会教育・生涯学習等の業務に必要な資質・能力や高度化・多様化する地域住民の学習ニーズに応えられる実践的な知識・技能の習得に向けた研修を行い、社会教育・生涯学習の振興を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係職員等

＜実施＞9月20日(水)

社会教育専門研修

■16ミリ映画機操作技術講習

映画機の使用法やフィルムの取扱いについての講習を行い、視聴覚教材(16ミリフィルム)の利用促進を図る。

＜対象＞社会教育関係者、学校教育関係者、その他関心がある方

＜実施＞令和5年6月～12月の御希望の日

※随時募集

現代的課題対応研修

■公民館事業活性化研修会

多くの公民館関係者が抱える「多様で多世代の交流が生まれる場所づくり」「若い世代を含めたより多くの住民の参加・参画」といった課題を解決するための視点をつかむとともに、今後の事業づくりにつなげる。

＜対象＞社会教育・生涯学習行政関係職員等、公民館関係職員、
コミュニティ施設関係職員

＜実施＞9月7日(木)

現代的課題対応研修

■SDGs×人づくり・地域づくり推進セミナー

SDGs(持続可能な開発目標)の理念である誰一人取り残さない社会の実現に向けて、社会教育が果たすべき役割や可能性を考えるとともに、多様な主体との連携・協働によって、新たな社会問題や変化にも対応できる人づくり・地域づくりを目指す。

＜対象＞社会教育・生涯学習行政関係職員、コミュニティ・まちづくり
関係職員、総合政策・経営企画関係職員、SDGs担当職員、
社会教育委員、市民団体・NPO関係者等

＜実施＞10月4日(水)

現代的課題対応研修

■地域学校協働活動推進のためのコーディネーター研修

地域全体で子どもたちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動を推進するため、関係者の理解促進と地域学校協働活動推進員等の育成を図るとともに、今後の取組の充実につなげる機会とする。

＜対象＞地域学校協働活動推進員、社会教育関係者、学校関係者等

＜実施＞6月24日(土)

現代的課題対応研修

■地域と学校の連携・協働推進フォーラム

地域全体で子どもたちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールを一体的に推進するため、関係者の理解促進と推進員等の育成を図る。

＜対象＞地域学校協働活動推進員、コミュニティ・スクール及び
地域学校協働活動担当行政職員、学校関係者等

＜実施＞10月24日(火)

交流研修

■中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第40回大会

県内外の社会教育、生涯学習関係者の実践の発表・協議等を通して、相互の研鑽と交流を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係者(民間・行政)

＜実施＞5月20日(土)～21日(日)

交流研修

■生涯教育まちづくりフォーラム

県内の「まちづくり」「ひとづくり」に関する実践の事例発表及び研究論文発表をもとに、参加者相互の交流を通して社会教育・生涯学習の振興を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習に関心のある方

＜実施＞年3回程度

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■福岡県社会教育施設学習ボランティア「若杉の会」の支援

「若杉の会」の活動を支援することにより、会員の資質向上と会の充実を図る。

＜対象＞若杉の会会員



令和4年度実績 ～こんなことをしました～

1 事業

① 県民の学習活動支援

学習情報提供・学習相談

■HP「ふくおか社会教育ネットワーク」による情報の提供

県内外の社会教育に関する先進事例や講師情報、調査等様々な学習情報を提供するとともに、当センター及び県内社会教育施設情報について紹介する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等
<実施>282,342件

学習情報提供・学習相談

■図書資料と社会教育情報の収集・整備・提供

国や県、市町村、民間団体等が発行する社会教育・生涯学習振興に関連する図書資料・地域情報等を収集、整理、提供する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等
<実施>48件

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出

社会教育・生涯学習、学校教育、家庭教育等に関する視聴覚教材の収集と貸出を行う。

<対象>学校、民間団体、行政機関等
<実施>784本

学習情報提供・学習相談

■社会教育・生涯学習に係る学習相談の実施

社会教育や生涯学習に関する講師や学習方法、学習機会についての情報提供、事例の紹介、図書や視聴覚教材の案内、研修プログラムの相談など、学習者・学習企画者の相談に応える。

<対象>学校、民間団体、行政機関等
<実施>958件

調査研究

■地域学校協働活動に関する調査研究

地域学校協働活動に関する調査研究を行い、地域の人材の協力を得た地域学校協働活動を推進し、持続可能な仕組みづくりのための情報を提供する。

<対象>市町村、学校等
<実施>17回

調査研究

■家庭教育に関する調査研究

小学生の保護者を対象に、家庭教育に関する意識及び行動調査（抽出）を行い、家庭教育支援に資する情報を提供する。

<対象>小学生の保護者
<実施>調査報告書、ダイジェスト版の作成・配布・HP掲載

学習活動の支援・学習機会の提供

■ふくおか社会教育応援隊

県内の社会教育振興を図るため、市町村や社会教育関係団体、学校等の要望に応じた人材を派遣するとともに、情報、学習機会を提供する。

<対象>市町村、社会教育関係団体、学校等
<実施>12件派遣

学習活動の支援・学習機会の提供

■ゆずフェスティバル

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解とボランティアの育成を図る。

<対象>県民、施設での活動に心のある方
<実施>11月13日(日) 680名



② ふくおかの未来を担う子どもの育成

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■ふくおかきッズアドベンチャーキャンプ【4回シリーズ】

県内の小学校3、4年生の児童を対象に、県内各青少年教育施設での特色を生かした自然・生活体験と各施設のプログラムを経験させることで、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし、自律的に成長するための基礎を養う。

※夜須高原青少年自然の家、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」と共同開催

<対象>県内の小学校3、4年生 24名
<実施>① 9月17日(土)～19日(月)(玄海の家) 中止
② 10月 8日(土)～ 9日(日)(英彦山)
③ 12月10日(土)～11日(日)(夜須高原)
④ 1月28日(土)～29日(日)(社教センター)

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■和き・合い・愛 チャレンジキャンプ

知的障がいのある児童・生徒を対象に、自然体験活動や社会体験活動のプログラムを通して、何事にも主体的に取り組む力や他者とふれあう力を育み、自立心や社会性を身につける力を養う。また、高等部については、卒業後の進路を考えるために、保護者同士の情報交換等を行いながら、子どもの自立に向けた支援の在り方等について考える機会とする。

<対象>県内の特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍する知的障がいのある児童・生徒
<実施>① 6月 4日(土)～ 5日(日) 7名
② 7月24日(日) 中止
③ 9月 3日(土)～ 4日(日) 3名



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

～「体験の風をおこそう」運動推進事業～

■ファミリーキャンプ基礎講座【2回シリーズ】

県内の高校生以下の青少年とその家族を対象に、キャンプの基礎的なスキルとマナーを学ぶプログラムを開催する。このプログラムを通して、自然体験の意義や公共のマナー、自然環境の大切さを学びながらキャンプを楽しむ機会とする。

＜対象＞県内の青少年(高校生以下)とその家族10組

＜実施＞① 7月18日(日) 9家族

② 11月20日(土)～21日(日) 8家族



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

～「体験の風をおこそう」運動推進事業～

■はじめてのアウトドア！

ENJOYファミリークッキング♪～入門編～

県内の青少年(高校生以下)とその家族を対象に、自然環境の中、家族で調理することを通して、家族の絆を深め、調理する喜びや楽しさを味わう機会を提供することにより、体験活動の普及・啓発を図る。

＜対象＞県内の青少年(高校生以下)とその家族10組

＜実施＞① 5月2日(日) 10家族

② 7月4日(日) 10家族

③ 12月5日(日) 10家族



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ

【2回シリーズ】

幼少期からの体験活動の重要性を考慮して、様々な体験活動にチャレンジさせ、その過程を褒めることで、思考力や社会性、協調性を育成し、自立心の向上につなげる。

＜対象＞県内の年長児①30名

②15名

＜実施＞① 10月16日(日) 22名

② 10月29日(土)

～30日(日) 15名



学習活動の支援・学習機会の提供

■ふくおか体験活動出前隊

県内の県立青少年教育施設及び国立夜須高原青少年自然の家の職員が学校や地域に出向き、自然体験活動の機会が減った児童・生徒及び教職員、地域の方々を対象に体験活動の支援を直接行うことを通して、学校や地域での体験活動の充実及び活性化を図る。併せて、県内青少年教育施設の取り組みを広く地域に発信し、理解を深めるとともに、各施設の利用促進を図る。

＜対象＞県内の教育施設、市町村社会教育・生涯学習関係課及び管内の社会教育施設、社会教育関係団体、地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動等に関する団体

＜実施＞4施設合計 約80団体(5,000名)

家庭教育支援

■みんなで育もう！

ふくおかの子ども育成支援フォーラム

ふくおかの未来を担う子どもの育成を目指し、家庭教育・子育て支援者、学校教育関係者、社会教育関係職員等を対象に、家庭教育・子育て支援についての理解と啓発及び関係者のネットワークづくりを図る。

＜対象＞家庭教育・子育て支援者に関心のある団体・個人、家庭教育・子育て支援行政担当者、幼稚園・保育園(所)・学校関係者、その他

＜実施＞12月10日(土)93名



家庭教育支援

■HP「ふくおか子育てパーク」による情報の提供

インターネットを活用した家庭教育・子育て支援情報の収集・提供を行い、家庭教育・子育ての支援を図る。

＜対象＞家庭教育・子育て支援者・団体、保護者、行政機関等

＜実施＞44,376件

家庭教育支援

■家庭教育相談「親・おや電話」・「メール相談」

保護者等を対象に家庭教育・子育て全般にわたる相談に応じる。

＜対象＞保護者等

＜実施＞487件(電話436件、メール51件)



③ 社会教育関係者等の養成

社会教育基礎研修

■社会教育・生涯学習関係職員等基礎研修会【基礎編】

社会教育・生涯学習関係職員の新任者及び学び直しを希望する者を対象に、今後の社会教育・生涯学習の振興を図るために必要な基礎知識や資質・能力の向上に向けた研修を行う。また、関係者同士のネットワークを構築する機会を提供する。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係職員等

＜実施＞ 6月10日(金)66名



社会教育基礎研修

■市町村社会教育委員新任者研修会

新たに委嘱された市町村の社会教育委員等を対象に、社会教育委員の役割や直面する社会教育の課題等についての研修を行い、生涯学習社会の実現に向けて社会教育活動の推進を図る。

＜対象＞社会教育委員新任者、行政関係者等

＜実施＞ 7月7日(木)57名



社会教育専門研修

■社会教育・生涯学習関係職員等専門研修会【実践編】

社会教育・生涯学習等の業務に必要な資質・能力や高度化・多様化する地域住民の学習ニーズに応えられる実践的な知識・技能の習得に向けた研修を行い、社会教育・生涯学習の振興を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係職員等

＜実施＞ 9月9日(金)48名



社会教育専門研修

■16ミリ映写機操作技術講習

映写機の使用法やフィルムの取扱いについての講習を行い、視聴覚教材(16ミリフィルム)の利用促進を図る。

＜対象＞社会教育関係者、学校教育関係者、その他関心がある方

＜実施＞① 6月23日(木)3名

② 8月19日(金)2名

③ 9月29日(木)1名

④12月17日(土)1名

⑤12月18日(日)1名



現代的課題対応研修

■公民館事業活性化研修会

現代的課題の一つである「防災」への学びをととして、公民館が地域コミュニティの維持や持続的な発展に向けて中核的な役割を果たすとともに、多様な主体と連携・協働し、「開かれ、つながる社会教育」の実現を目指す。

＜対象＞社会教育・生涯学習行政関係職員等、公民館関係職員、コミュニティ施設関係職員、防災担当主管職員等

＜実施＞ 9月28日(水)78名



現代的課題対応研修

■地域学校協働活動推進のためのコーディネーター研修

地域全体で子供たちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動を推進するため、関係者の理解促進と地域学校協働活動推進員の育成を図るとともに、今後の取組の充実につなげる機会とする。

＜対象＞地域学校協働活動推進員、社会教育関係者、学校関係者等

＜実施＞ 6月27日(月)108名



現代的課題対応研修

■地域と学校の連携・協働推進フォーラム

地域全体で子供たちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進のため、関係者が抱える課題について解決の方策を探るとともに、それぞれが交流を図ることにより、持続可能な取組について学び合う機会とする。

＜対象＞地域学校協働活動推進員、社会教育関係者、学校関係者等

＜実施＞11月1日(火)67名



交流研修

■生涯教育まちづくりフォーラム

県内の「まちづくり」「ひとづくり」に関する実践の事例発表及び研究論文発表をもとに、参加者相互の交流を通して社会教育・生涯学習の振興を図る。

＜対象＞社会教育・生涯学習に関心のある方

＜実施＞ 6月17日(金)25名、

8月 6日(土)26名

9月10日(土)33名

10月29日(土)24名

1月28日(土)24名

2月25日(土)26名

3月11日(土)40名



現代的課題対応研修

■社会教育×SDGsに学ぶ人づくり・地域づくりセミナー

SDGs(持続可能な開発目標)の理念の実現に向けて、社会教育が果たすべき役割や可能性を考え、新たな社会問題や変化にも対応できる人づくり・地域づくりを目指す。

＜対象＞社会教育・生涯学習関係職員、公民館関係職員、まちづくり主管関係職員、

NPO・ボランティア関係者等

＜実施＞10月18日(火)52名

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■センター学習ボランティア「若杉の会」の支援

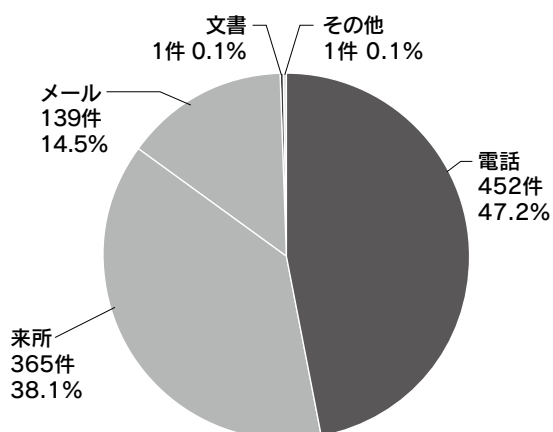
「若杉の会」の活動を支援することにより会員の研鑽と会の充実を図る。

＜対象＞若杉の会会員

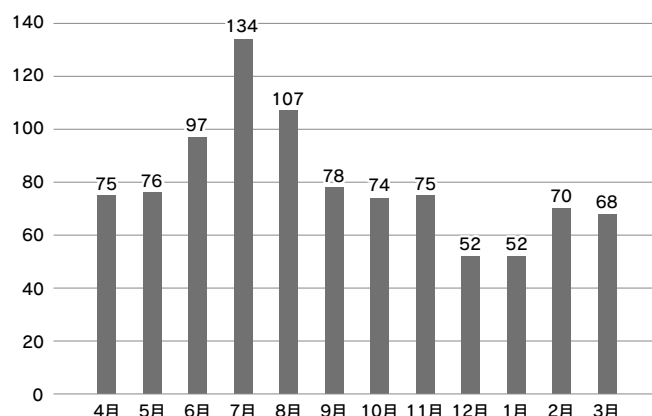
＜実施＞4件(延べ11名)

2 学 習 相 談 状 況

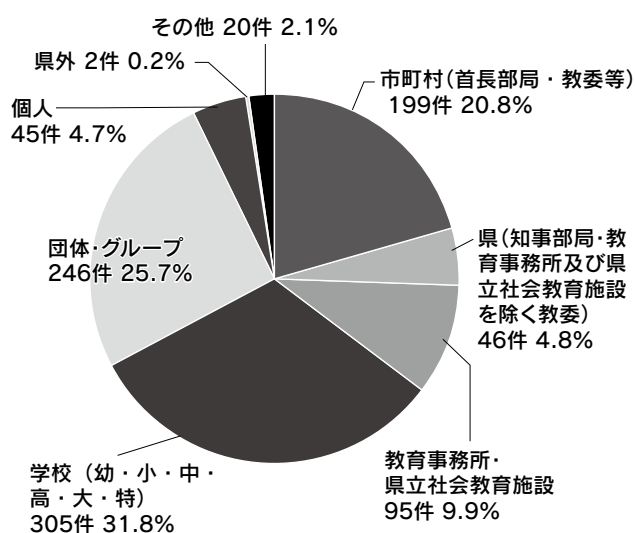
■相談方法別内訳



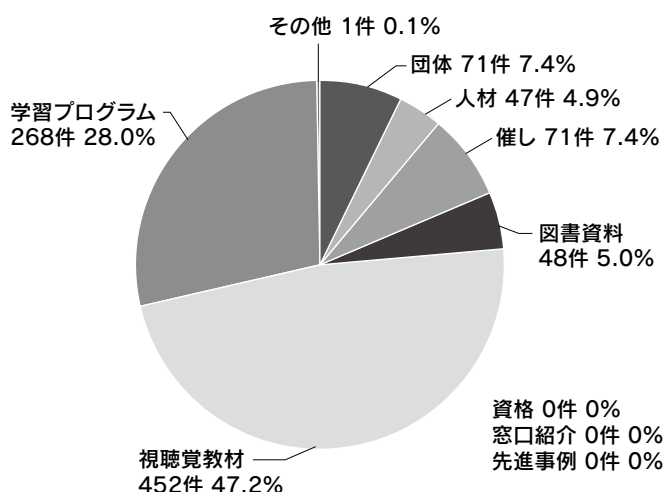
■月別相談件数



■相談者別内訳



■相談分野別内訳



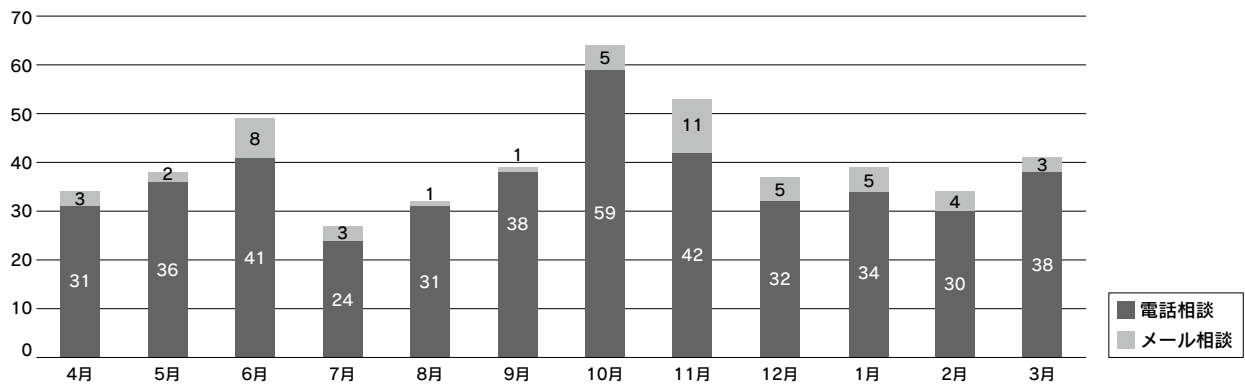
■相談者別の相談分野

(単位：件)

相談者 \ 相談分野	団体	人材	催し	図書資料	視聴覚教材	資格	窓口紹介	先進事例	学習プログラム	その他	総 計
市町村 (首長部局・教委等)	3	19	23	0	148	0	0	0	6	0	199
県 (知事部局・教育事務所及び県立社会教育施設を除く教委)	8	0	1	12	17	0	0	0	7	1	46
教育事務所・県立社会教育施設	42	3	24	0	23	0	0	0	3	0	95
学校 (幼・小・中・高・大・特)	1	4	0	1	166	0	0	0	133	0	305
団 体 ・ グ ル ー プ	8	21	21	0	87	0	0	0	109	0	246
個 人	0	0	0	35	10	0	0	0	0	0	45
県 外	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
そ の 他	8	0	2	0	1	0	0	0	9	0	20
年 度 累 計	71	47	71	48	452	0	0	0	268	1	958

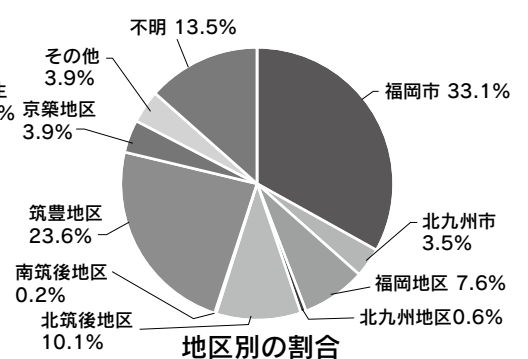
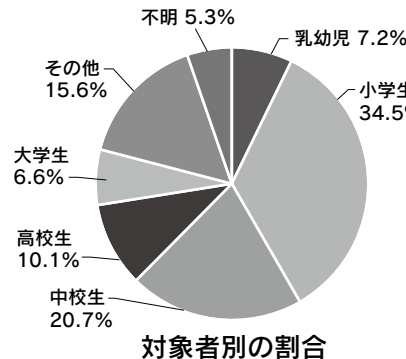
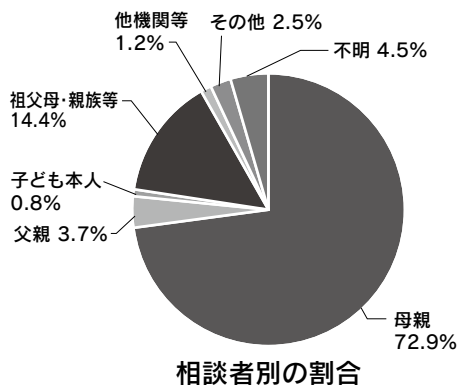
3 家庭教育相談「親・おや電話」(メール相談も含む)状況

① 月別相談件数



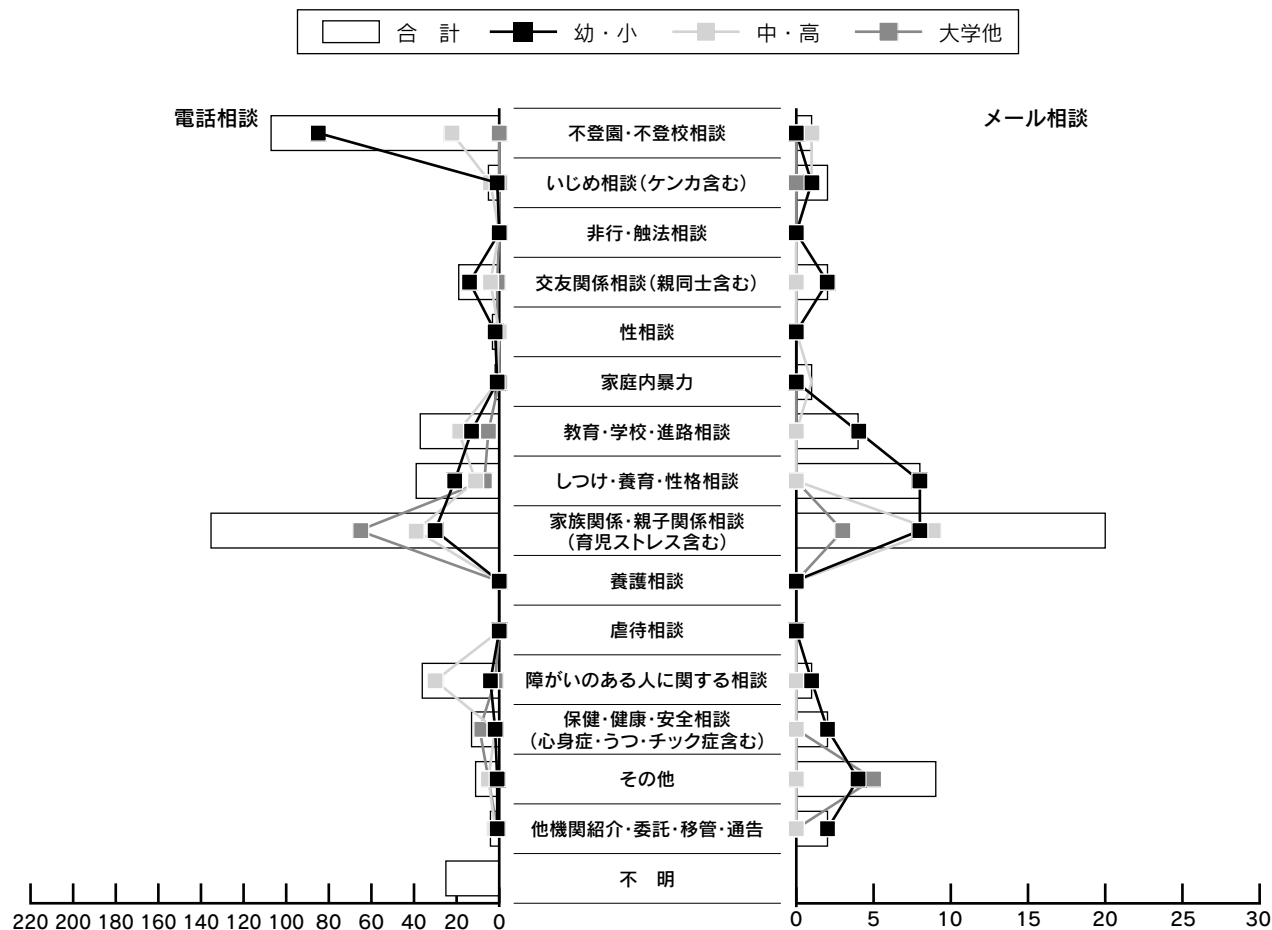
② 相談者・対象者・地区別相談件数

区 分		電 話 相 談	メー ル 相 談	合 計	割 合 (%)
相 談 件 数		436	51	487	100.0
相 談 者	母 親	313	42	355	72.9
	父 親	16	2	18	3.7
	子 ども 本 人	4	0	4	0.8
	祖 父 母 ・ 親 族 等	64	6	70	14.4
	他 機 関 等	6	0	6	1.2
	そ の 他	12	0	12	2.5
	不 明	21	1	22	4.5
小 計		436	51	487	100.0
対 象 者	乳 幼 児	16	19	35	7.2
	小 学 生	157	11	168	34.5
	中 学 生	91	10	101	20.7
	高 校 生	48	1	49	10.1
	大 学 生	32	0	32	6.6
	そ の 他	68	8	76	15.6
	不 明	24	2	26	5.3
小 計		436	51	487	100.0
地 区	福 岡 市	150	11	161	33.1
	北 九 州 市	17	0	17	3.5
	福 岡 地 区	36	1	37	7.6
	北 九 州 地 区	3	0	3	0.6
	北 筑 後 地 区	48	1	49	10.1
	南 筑 後 地 区	1	0	1	0.2
	筑 豊 地 区	113	2	115	23.6
	京 築 地 区	19	0	19	3.9
	そ の 他	14	5	19	3.9
	不 明	35	31	66	13.5
	小 計	436	51	487	100.0



③ 内容別相談件数

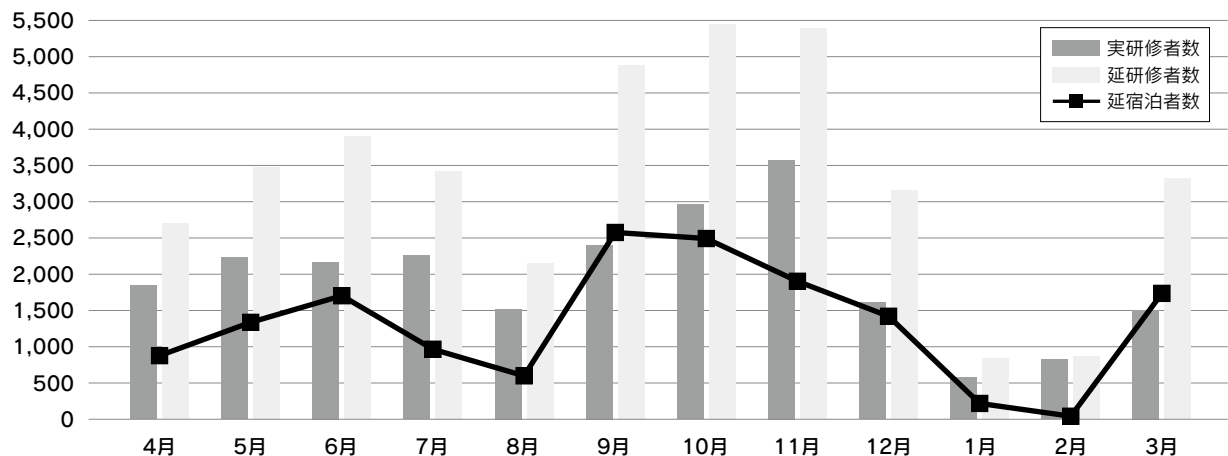
区 分 相談内容	電話相談					メール相談				
	幼・小	中・高	大学他	合計	割合(%)	幼・小	中・高	大学他	合計	割合(%)
不登園・不登校相談	85	22	0	107	24.5	0	1	0	1	2.0
いじめ相談(ケンカ含む)	1	4	0	5	1.1	1	1	0	2	3.8
非行・触法相談	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0
交友関係相談(親同士含む)	14	4	1	19	4.4	2	0	0	2	3.8
性相談	2	0	1	3	0.7	0	0	0	0	0.0
家庭内暴力	1	1	0	2	0.5	0	1	0	1	2.0
教育・学校・進路相談	13	19	5	37	8.5	4	0	0	4	7.7
しつけ・養育・性格相談	21	11	7	39	8.9	8	0	0	8	15.4
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)	30	39	66	135	31.0	8	9	3	20	38.4
養護相談	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0
虐待相談	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0
障がいのある人に関する相談	4	30	2	36	8.3	1	0	0	1	2.0
保健・健康・安全相談(心身 症・うつ・チック症含む)	2	2	9	13	3.0	2	0	0	2	3.8
その他	1	5	5	11	2.5	4	0	5	9	17.3
他機関紹介・委託・移管・通告	1	2	1	4	0.9	2	0	0	2	3.8
不 明				25	5.7				0	0.0
合 計				436	100.0				52	100.0



4 施設の利用状況

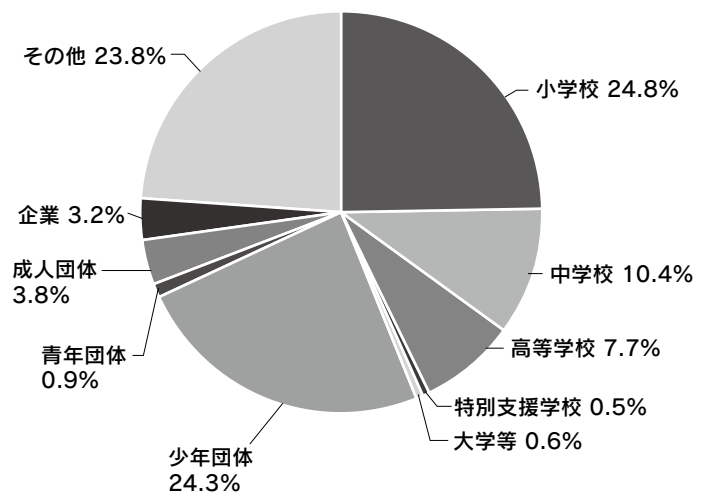
① 月別利用状況

区 分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実研修者数 A	3	1,659	348	609	2,300	365	9	3,027	3,596	2,047	400	421	1,072	15,853
	4	1,849	2,232	2,173	2,261	1,519	2,403	2,961	3,581	1,611	577	826	1,503	23,496
実入所者数 (A)	3	0	0	0	0	0	0	62	1	0	0	0	0	63
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延研修者数 B	3	3,113	687	609	3,375	829	9	4,032	5,220	3,518	430	421	1,515	23,758
	4	2,702	3,476	3,899	3,427	2,160	4,886	5,455	5,389	3,161	846	869	3,321	39,591
実宿泊者数 C	3	649	163	0	756	192	0	664	1,115	1,111	27	0	197	4,874
	4	593	948	1,487	713	455	1,716	2,036	1,392	1,055	184	42	849	11,470
延宿泊者数 D	3	890	326	0	1,060	370	0	936	1,679	1,463	27	0	374	7,125
	4	876	1,336	1,703	965	598	2,580	2,494	1,903	1,421	221	42	1,735	15,874
団 体 数 E	3	58	16	21	83	34	5	74	59	50	26	28	51	505
	4	58	62	57	108	84	56	69	71	45	34	51	69	764
開 所 日 数 F	3	28	12	9	30	9	0	29	28	26	26	26	29	252
	4	28	29	28	29	30	27	29	28	25	25	26	29	333
宿泊可能日数 G	3	26	10	8	28	8	0	27	26	24	25	24	27	233
	4	26	27	26	27	29	24	27	26	22	23	24	27	308
一 日 平 均	研修者数 B/F → H	3	111	57	68	113	92	0	139	186	135	17	16	94
	4	97	120	139	118	72	181	188	193	126	34	33	115	119
	利 用 率 H/316 → I	3	35	18	21	36	29	0	44	59	43	5	5	30
	4	31	38	44	37	23	57	60	61	40	11	11	36	38
	宿泊人数 D/G → J	3	34	33	0	38	46	0	35	65	61	1	0	31
	4	34	50	66	36	21	108	92	73	65	10	2	64	52
宿 泊 率 J/316 → K	3	11	10	0	12	15	0	11	20	19	0	0	4	10
	4	11	16	21	11	7	34	29	23	20	3	1	20	16

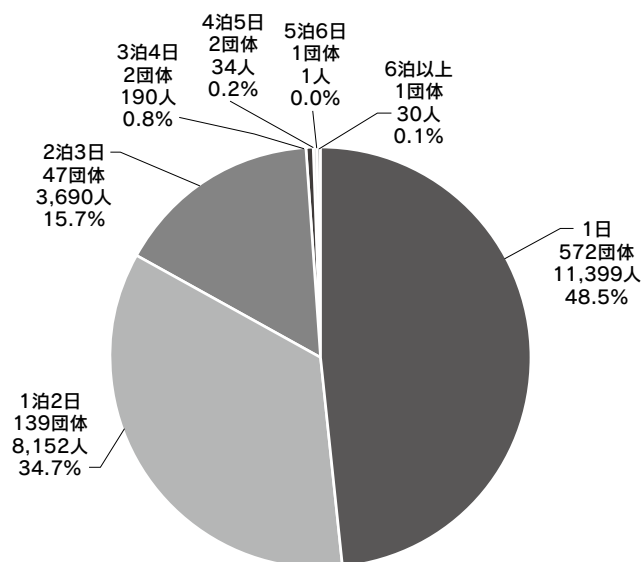


② 団体種別

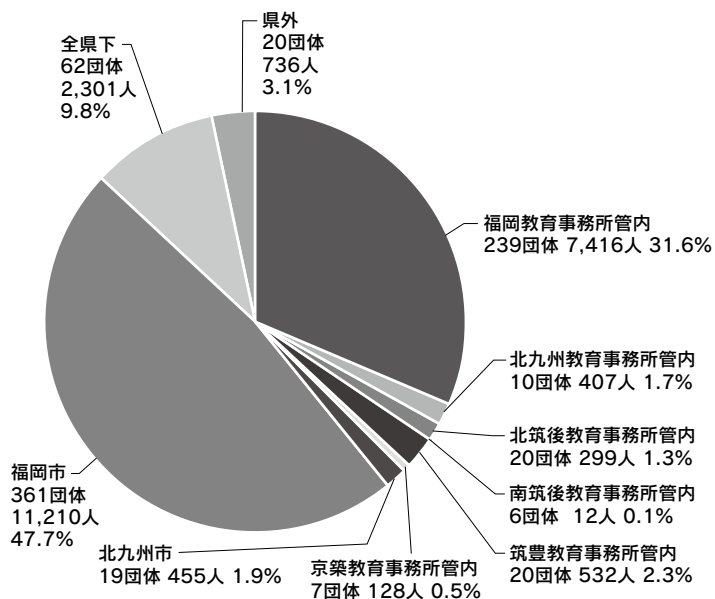
区 分		合 計		割合
		団体数	研修者数	
学 校 利 用	小 学 校	122	5,829	24.8
	中 学 校	52	2,429	10.4
	高 等 学 校	42	1,812	7.7
	特 別 支 援 学 校	6	121	0.5
	大学・短大・高専・専修・各種学校	15	147	0.6
小 計		237	10,338	44.0
少 年 団 体		249	5,717	24.3
青 年 団 体		10	219	0.9
成 人 団 体		89	881	3.8
学 校 教 育 指 導 者		0	0	0.0
社 会 教 育 指 導 者		0	0	0.0
企 業		28	747	3.2
そ の 他		151	5,594	23.8
合 計		764	23,496	100.0



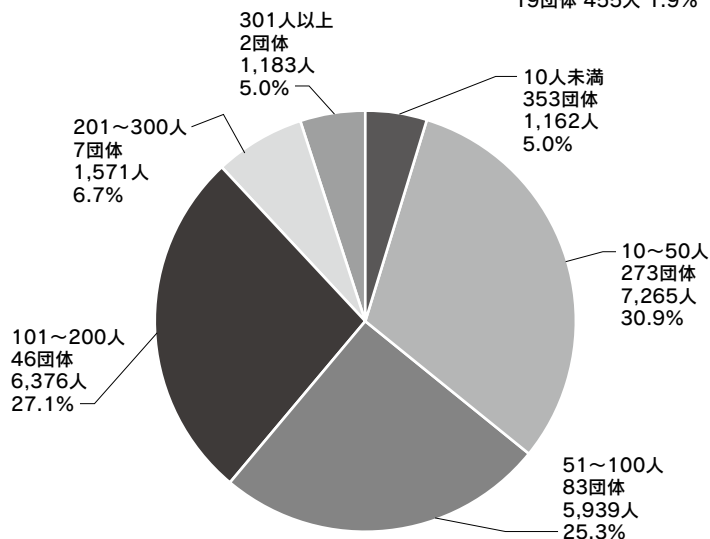
③ 一日研修・宿泊研修



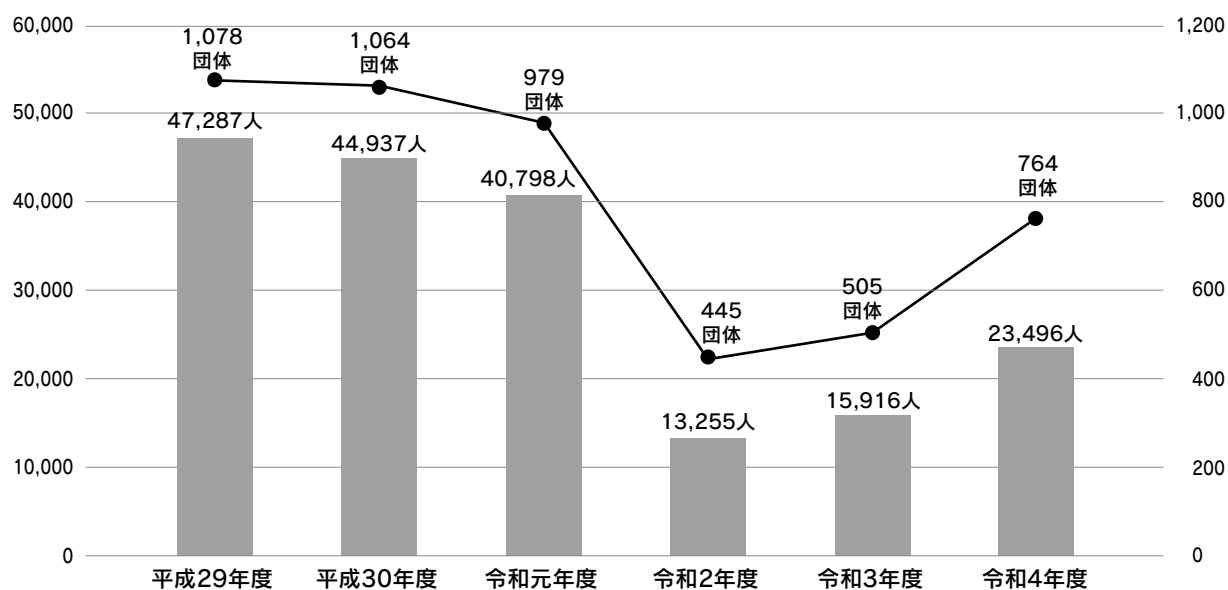
④ 地域別



⑤ 団体規模別



⑥ 年度別利用者及び利用団体数

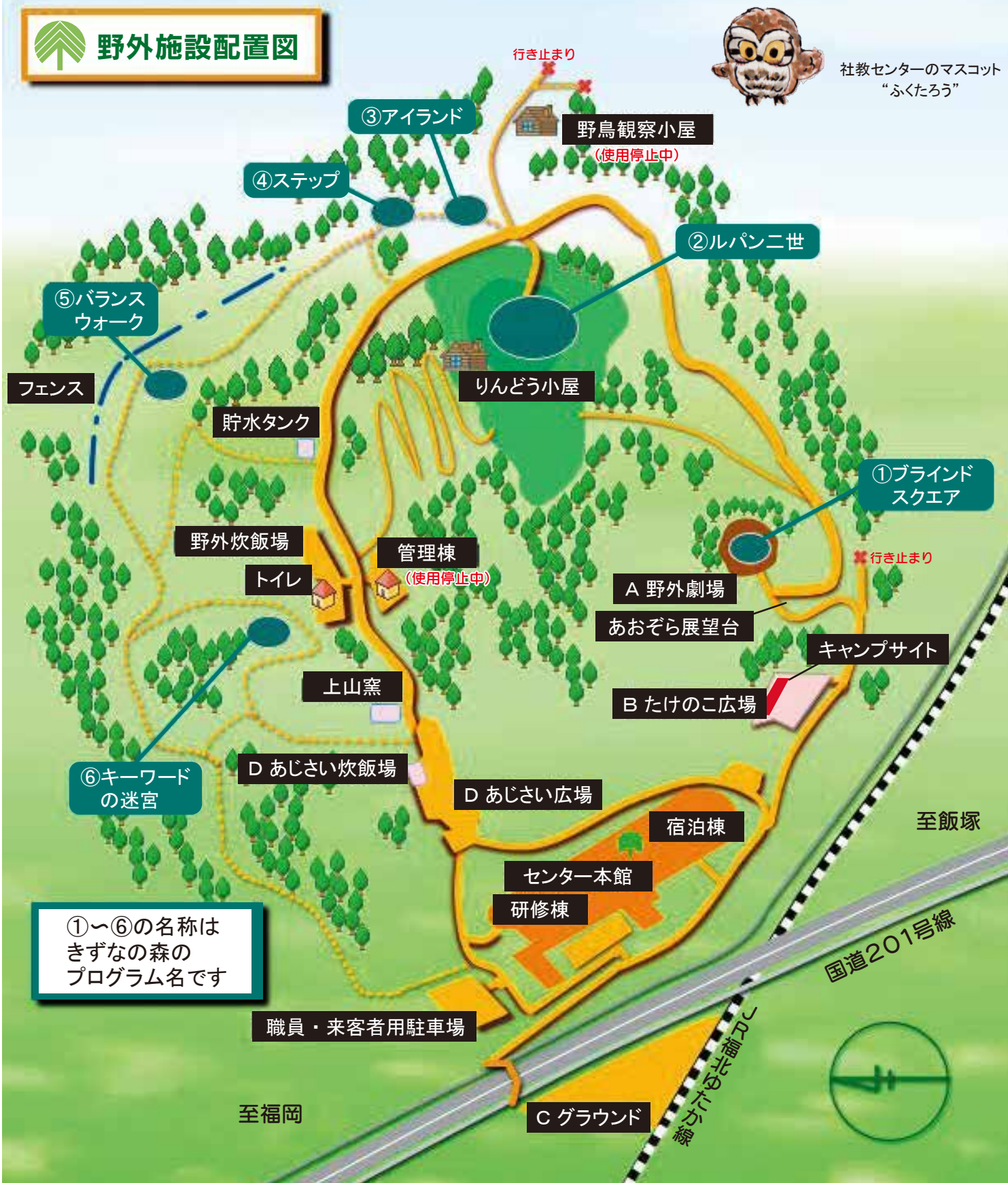




野外施設配置図



社教センターのマスコット
“ふくたろう”



A 野外劇場



B たけのこ広場

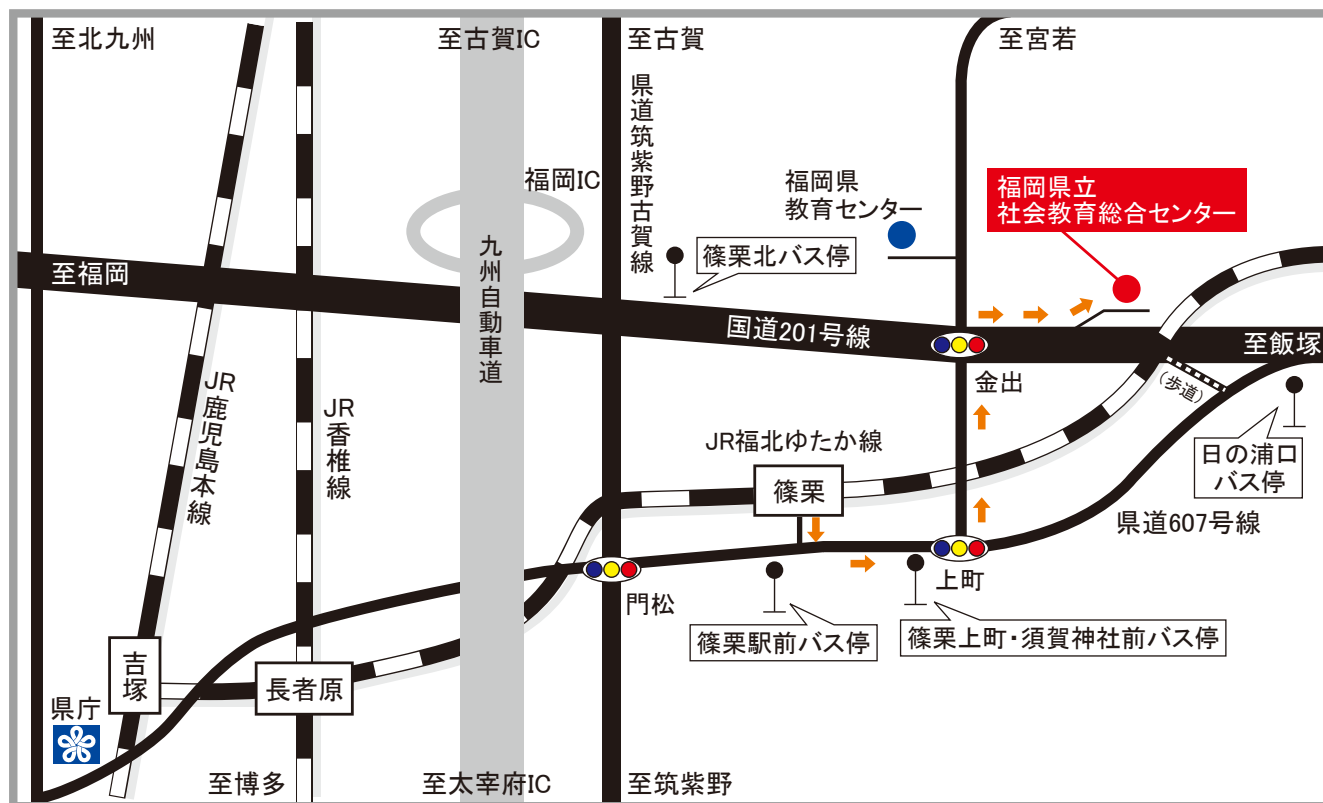


C グラウンド



D あじさい(広場・炊飯場)

●周辺地図・交通案内



※篠栗駅から徒歩でお越しの方は地図上のオレンジの矢印(→)に沿ってお進みください。
 ※略図のため、駅・バス停の位置関係と距離は比例していません。

■自動車でお越しの方は

九州自動車道・福岡 IC から 10 分

■電車でお越しの方は

JR 篠栗駅から徒歩 20 分、タクシーで 5 分

■バスでお越しの方は

西鉄バス31番又は310番「日の浦口」から徒歩 7 分
 都市高速(呉服町ランプ)経由「篠栗北」から徒歩 20 分

福岡県立社会教育総合センター

検索

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2

TEL 092-947-3511 FAX 092-947-8029

E-mail shakyoc@pref.fukuoka.lg.jp

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/center/index.html>

●家庭教育相談「親・おや電話」 TEL 092-947-3515

●視聴覚ライブラリー TEL 092-947-3514

●ふくおか社会教育ネットワーク

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>
 社会教育に関する最新情報の提供と
 社会教育関連機関の紹介をするサイトです。



●ふくおか子育てパーク

<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>
 子育てを学ぼう! 毎日の子育てが楽しくなる
 子育て情報満載ホームページ

